

♥ Volunteer  
ボランティア

ちよだ  
× ご近所かわらばん

合併号 2018

スペシャル インタビュー 新田 英理子 さん

そうだったのか。  
ボランティア

そうだったのか。  
SDGs



認定NPO法人日本NPOセンター特別研究員／一般社団法人 SDGs 市民社会ネットワーク事務局長代行

- ◇ 地域の助け合いの一つのかたち「ふたばサービス」
- ◇ 区内の各地域で「ささえ愛まち会議」を開催しています!
- ◇ みんなの「すき!」「できる!」からはじまるボランティア



# 新田 英理子さん

(認定NPO法人日本NPOセンター特別研究員／  
一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク事務局長代行)



## そうだったのか。ボランティア そうだったのか。SDGs

地域共同体の和が重んじられてきた日本の社会では、「ボランティア」や「NPO」という言葉が現れていなかった時代から、近所の助け合いや慈善活動が行われてきました。そして、1995年の阪神淡路大震災以降市民の力を特徴づけたボランティア活動、1998年の法施行で認知度が深まったNPO、また、2011年の東日本大震災や最近の相次ぐ自然災害の復興支援活動で社会的な役割が注目されるなど、「ボランティア」への関心が高まっています。

この20年、ボランティア活動に代表される多様な市民活動の支援やネットワーク形成に取り組み、また、2017年より、世界の共通目標「SDGs」の普及・啓発の推進役を務める新田英理子さんに、ボランティアが創る人と社会、今、私たちにできること、そして千代田区への期待をお聞きました。

### あたり前+α(プラスアルファ)

もう25年前(四半世紀前)!になりますが、大学生時代に大学としても初の試みの半年間フィールドワーク(夏休みのボランティア体験のような)という授業の一環でタイのバンコクに滞在する機会を得ました。その当時日本がODA世界1位だと報道されていたにもかかわらず、貧困に苦しんでいる国がたくさんあると報道されており、タイの生活や文化に触れながら、スラムで住民の方から聞き取り調査をしていました。このような貧富の差がなぜ生まれてしまうのか。疑問だったし、興味があつたんです。その時に、タイのクロントイスラムで活動している日本のNGOの方に話を聞く機会があったことが、この世界に足を踏み入れるきっかけになっていると思います。



ですから、ボランティア活動をしよう

と思っていたわけではなく、自分の興味を突き進めていたら、NPOやボランティア活動を推進することが仕事になっていた、という後付けな感じです。

### 対価を求めない活動の真価とは

ボランティアの大切な価値の一つとして「無償性」も挙げられますが、私自身が一番大切なのは、自分で決めて、自分でやっているとい

う、「自発性」だと思っています。大人になったら働いて稼ぎ、ボランティア活動は余暇として位置づけられていることがまだまだ多いと思います。しかしながら、多様な価値観を受け入れていこうという最近の風潮の中では、ボランティア活動が「無償か有償か」という対立した概念で受け取られるのではなく、自分で決めて、自分でやっているという選択肢が無数にあるということを受け入れていく価値観が広がっていったらいいなあと思います。その意味で、誰もが自分の中にボランティアの種をもっているの、「参加」はとても大切なキーワードだと思っています。

また、最近、何でも数字で表すというか、お金に換算して、わかりやすく「見える化」しようという風潮があるように思っているのですが、それだけだと自転車の前輪がない感じ。一人一人の時間を越えた人生の価値をお金に換算することに違和感があるように、ボランティア活動への参加の価値をお金や数字でなく伝えていく重要性を感じています。

### 踏ん張りどころの「市民自治」

日本で暮らしているととても便利です。それは、先輩方の苦勞の賜物。人生も半ばを迎える中で、とても感謝しています。しかしながら、2つの視点から、私自身は今、ひとりの市民として、危機感と緊張感を感じながら生活をしています。

一つは、便利になりすぎて、なんでもかんでも買えるようになってくることの弊害が、なんでもかんでも誰かに任せる「お任せ民主主義」に陥っていないか。もう一つの視点は、便利の裏側で、誰かが苦

しんでいるのではないかといいところまで想像する力が奪われていないか。北極の氷が年々少なくなっているというニュースを聞いても、自分の日頃の行動がそれに関わっていると思えなくなっているということです。日本は地震や台風、ゲリラ豪雨など自然災害と向き合い続けていかなければならない位置にあります。ボランティア活動が盛んな地域は、被害が少ないという報道を見聞しましたが、持続不可能性が高まる地域の中で、現実味があるなあと思っています。

## なぜ今SDGsか

SDGs(エス・ディー・ジーズ)は、持続可能な開発目標の頭文字をとったもので、2015年9月25日に国連全参加国(193か国)で採択された世界共通の「持続可能な社会」へ向けた目標です。つづかない世界をつづく世界にするために、17の目標とその目標をさらに具体化した169の目標(ターゲットと呼ばれています)に分解され、提案されています。罰則規定があったり条約として締結されたりしたものではなく、あくまでも目標です。しかしながら、国連が第二次世界大戦後、2度と世界大戦を起こさないという理念をもって作られたように、戦後70年の中でさまざまに取り組みられてきた、「環境」や「開発」、「ジェンダー」などの問題を「経済」の側面も合わせ、達成しているというかなり「野心的で革新的」な目標だと言われています。

具体的に、2030年までに「誰一人とりのこさない(Leave No One Behind)」で目標を達成しようといっています。地球や地域がそれだけ持続不可能になっているのか。と、2014年にSDGsに意見を出していたNGOの人たちから話を聞いたときには、衝撃を受けたのを今でも強く覚えています。中学生や高校生にSDGsについて話をする機会をいただくことがあるのですが、大人に話すより、「自分たちのミライを自分たちで切り開いていくんだ。」というキラキラした目で反応してくれます。

## 「誰も取り残さない」社会のためにできること

例えば12番目の目標に持続可能な生産消費形態を確保する、通称:『つくる責任、つかう責任』という目標があります。残念ながら日本の食物廃棄量は世界トップクラスです。私たちは毎日何かしら買い物をしていると思いますが、自分が食べるものを価格だけで選ぶ

のではなく、作っている人やその環境にも視線を向けると、もう少しだけ捨てたりせずに大切にできるのではないかと思います。例えばですが、大切な人に贈るバレンタインデーのチョコだけは、倫理的にも環境にもよい商品を選ぶ、というような単純化しすぎ



てどうせ自分だけがやっても無理だと現状をあきらめないことも「つかう責任」として一人一人ができることです。自分ができることを選び、声をあげ行動する人を応援することもよりよい社会をつくる参加の方法です。



### ボランティア活動と深く関係する活動

としては、「傾聴活動」があるのではないのでしょうか。ゴール3『すべての人に健康と福祉を』や、ゴール10『人や国の不平等を無くそう』や、ゴール11『住み続けられるまちづくりを』の達成にもつながるこれからますます重要になるボランティア活動ではないかと思っています。専門家でないのでこれまでの経験からの感覚ですが、「傾聴」は暮らしの中のちょっとした違和感や思いを「引き受けあうこと」。それによって一人一人が、安心感をもてたり、自分も役に立っているんだという肯定感をもったり、ほっとしたり。そんな活動の積み重ねが「ひずみを是正すること」につながっているのだと思います。

## 粋なマインドと最先端のまち「千代田」

7年間、千代田まちづくりサポート(まちみらい千代田)助成金の審査員を務めさせていただきました。千代田区の皆さんのボランティア志向の高さにいつも感心していました。地域を豊かにしたい、誰にとっても暮らしやすい地域にしたいと、仕事の合間を縫って知恵を出し合う、惜しみなく提供する皆さんの姿勢が真摯に伝わってきました。「粋」だなあ。と思っています。東京で、いや日本で、ここにしかないお祭りや建物、最先端でもあり粋な江戸の気質もあり、キラキラしたイメージを持っています。マンション開発で若い世帯も増加していると聞きますが、粋なマインドを若い人にも存分に伝え、地域の小さな集いに気軽に参加できる楽しさが受け継がれるといいですね。

東京はこれから2020年のオリンピック・パラリンピックに向けて、市民も巻き込んだ受け入れ準備が進んでいくのだと思います。この最先端千代田区の方たちが、2年後を目指して頑張ったことの意味や目的をしっかりと持続し、2030年のSDGsの達成(世界共通の目標の達成)にもつながることを願っています。

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



(出典:国連広報センター <http://www.unic.or.jp/>)





# 地域の助け合いの一つのかたち 「ふたばサービス」とは



ふたばサービスとは、住み慣れたまちで安心して暮らしていくために、**みんなのできることで助け合う事業**です。地域の皆さんの参加と協力により、日常生活で不便を感じる高齢者や妊産婦の家事や買い出しの支援等を有料で行っています。

## 住民参加型助け合いサービス(ふたばサービス)のしくみ

### ● 会員制

#### \* 依頼会員

千代田区にお住まいの高齢者や妊産婦等で日常的な家事の援助が必要な方。

#### \* 支援会員

ふたばサービスに理解のある、18歳以上の方

### ● 活動内容

掃除・整理整頓／食事の支度／洗濯  
買い物／話し相手(訪問傾聴)・外出・通院の付き添い、産前・産後(産後最長6ヵ月)の家事支援など

### ● サービス時間

月曜日～土曜日 午前9時～午後5時  
※日曜・祝日、平日の午前9時前や午後5時以降、年末年始(12月29日～1月3日)につきましては時間外扱いとなります。  
※支援会員が対応できる場合は、時間外や休日でもサービス可能です。



### ● 利用料金

※時間外は時間単価が200円増しです。

|      | 依頼会員<br>(利用料)                 | 支援会員<br>(活動費)              |
|------|-------------------------------|----------------------------|
| 時間単価 | 1,300円 (事務手数料100円含む)<br>×利用時間 | 1,200円<br>×利用時間            |
| 交通費  |                               | 往復400円までの実費を<br>社会福祉協議会が負担 |



千代田区の  
地域福祉活動の先駆者  
ふたばサービス支援会員  
鈴木 久子さん

介護保険制度ができる前から様々な形で社会福祉協議会の事業に関わり、地域に貢献してきた鈴木さん。ふたばサービス(以下「ふたば」)の立ち上げ時からのメンバーであり、今日まで活動を継続されています。そんな鈴木さんに「ふたば」の魅力や今後に期待することなどをお話いただきました。

「ふたば」の活動をはじめたきっかけ

子育てと介護が終わって空いた時間で地域の役に立ちたいと思いました。

それまでもボランティア活動をしていましたし、社会福祉協議会より支援会員にならないかと依頼が来た時、抵抗なく参加できました。始めたころは傾聴の活動が大変でしたが、社会福祉協議会のフォローもあり、無理なく活動を続けられました。



# 「住民と制度と 連携して、 皆ができることで協力 し合える地域になれば」

活動をはじめて気づいたこと「ふたば」の魅力

依頼会員はただ家事支援を求めているだけではなく、中には「さびしい」という思いをもっており、作業を超えた人の温もりを求めているのではないかと気づくようになりました。それは形式的な制度では対応できません。「ふたば」だからこそ応えることのできる活動ですね。



利用会員さんのご自宅で家事支援中の鈴木さん

これからの「ふたば」

依頼内容も多様になるなかで、支援会員が何でも対応できるわけではありませんし、依頼会員との関係づくりには時間もかかります。

だからこそ身近な地域、例えば町会等のご近所でちょっとした困りごととは助け合い、必要に応じてサービスや公的な制度につなげるなど連携が取れるといいですね。

鈴木さん、貴重なお話ありがとうございました。  
あなたもぜひ新しい時代の地域福祉の先駆者になってみませんか?

ふたばサービスについては

千代田区社会福祉協議会 地域支援課 地域支援係

☎03-3265-1901 平日 8:30~17:15

FAX 03-3265-1902 メール chiiki@chiyoda-cosw.or.jp



# 区内の各地域で、「ささえ愛まち会議」を<sup>あい</sup>

千代田区では高齢者・子育て世帯が年々増加しています。地域の中での困りごとや課題は多様化しており、公的なサービスだけで解決することが難しいケースが増えています。住み慣れた地域で誰もが自分らしく暮らしていくためには、地域の中で支え合いの機能を強め、地域の課題を解決していく取り組みが必要です。

千代田区では、各地区ごとに年3回程度の「ささえ愛まち会議」を開催し、地域課題解決に向けた取り組みを進めてまいります！

## 地区ごとにコア会議も開催

コア会議は、「ささえ愛まち会議」参加者の中から地域福祉に関心のあるコアなメンバーで組織し、地域の福祉課題解決に向けた具体的な取り組みを検討しています。

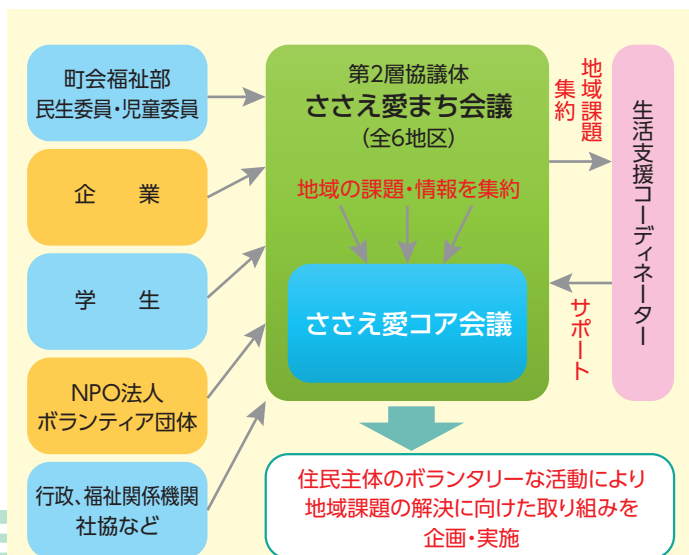
## コア会議の役割

- ① ささえ愛まち会議で挙げた意見をもとに、地域福祉に関わる具体的な取り組みを検討。
- ② 地域の福祉課題の中から、住民主体の活動により課題の解決が望めるものについて、その仕組みづくりを企画。

## コアメンバー

- ささえ愛まち会議参加者の中からの手上げ方式
- 各地区5～10名程度(各地区の在住・在勤・在学者等)と、福祉専門機関(社協・あんしんセンター・相談センター等)とで構成

## ささえ愛まち会議・コア会議とは？



## 各地区でコア会議を実施しています

### 麹町地区

- 麹町大通りの南側に、集まれる場所があると良い。
- 誰もが「自分が担い手になる」と思えるような居場所づくりができると良い。
- テーマがあると集まりやすいかもしれない。たとえば男性は、「フォークソング」や「利き酒」なんかの会があると出てきやすいかも。



### 富士見地区



- 誰もが集える場所、つながりづくりができたら良い。ファミリー世帯も多いから、イベントなどを通して親子からターゲットにしてもよさそう。
- 坂が多い地域なので、高齢者の買い物支援や、企業を巻き込んで健康寿命を延ばす取り組みができないだろうか。

### 神保町地区

- つながりがあれば、認知症の問題や孤立している人の問題も解決できるのでは？
- 学生の街でもあるので、学生と協働した居場所づくり、空き家で実施するカフェ等をやってはどうか。
- 信号を渡らないでいける居場所を、近所の喫茶店で作ってはどうか。
- 自転車に乗らない高齢者にとって買い物が不便だと思う。ペンシルビルが多いので、外出が大変な方も多い。そういった方への支援の仕組みができたら良い。



# 開催しています!

## 「ささえ愛まちづくり学習会&ささえ愛まち会議 第2弾」を開催!



認知症の方を地域でささえる他地域の取り組み事例を学ぶ場面

他区での福祉課題解決に向けた2つの取り組み事例を学ぶ学習会を開催しました(麹町・富士見・神保町:9/28(金))



高齢者が安心して暮らせるまちづくりの事例を学ぶ場面

実施 / 神田公園・万世橋・和泉橋:10/3(水)実施)。

講師は、目黒区で認知症の方を地域で支える取

り組み「Dカフェ」代表の竹内弘道さん、大田区で高齢者が安心して暮らせるまちづくり「おおた高齢者見守りネットワーク(みま〜も)」発起人の澤登久雄さんの2名にお願いし、区民が主体となって地域を支える取り組みにいたった経緯や、取り組みの状況についてうかがいました。

第2部では千代田区のコアメンバーによる取り組み状況の報告もありました。これからの各地区の動きも楽しみです!



地区別の取り組みを報告するコアメンバー

★記事内容に関する問い合わせ先

**千代田区社会福祉協議会 地域支援係**

TEL:03-3265-1901

FAX:03-3265-1902

メール:chiiki@chiyoda-cosw.or.jp



### 神田公園地区



- 大きなマンションが地区の中に増え始めた。転入した方達にも地域に出てきてほしい。
- お祭りは、地域の活動の中でも大きな要素。
- 町会や仲間同士での集まりなど、見守りの仕組みや居場所づくりについてすでに取り組まれているものもあるので、そういった取り組みが広がっていくとよい。

### 万世橋地区

- テーマ型のグループがあると男性も参加しやすいし、同じ年代で話ができるといい。
- 誰でも参加できる自宅開放型のサロンを開くことも検討している。運営、支援が必要。
- 地域の居場所に自分で行くことが難しい方のための送迎等があるといい。
- 企業やボランティアの協力を得られたい。



### 和泉橋地区



- みんなが集える居場所がつけられたらいい。
- 情報の発信方法やプログラム内容を充実させていくことも大事。
- 高齢者で家から出られない方が多いことも課題。企業やボランティアの協力をえて、送迎のサービスができていいと思う。



# みんなの「好き!」「できる!」からはじまるボランティア



だれにでもある「好きなこと」「できること」が困っている人を支えます  
ボランティアに関する相談・コーディネートは

ちよだボランティアセンターまで

TEL:03-6265-6522 FAX:03-3265-1902





ちよだでボランティアを続けているみなさんに  
「すき!」「できる!」からはじまるボランティアについてインタビューしました

## なでしこ配食サービスのみなさん

### ◆ 上村友子さん (なでしこ麴町)



### 共同作業 人と関わること が好き!

#### ▶ 活動のきっかけは?

- ・町会の集まりでの「ちょっと来てみない?」の一言。
- ・楽しくて、14年続いています。

#### ▶ 楽しいことは?

- ・仲間との楽しい情報交換(新しいお店や病院情報もうれしい!)
- ・女子力アップ。季節のごはんなど料理のレパートリーアップ。
- ・配達での「いつも美味しいわ。ありがとう。」と感謝の言葉。
- ・自分が楽しいことで喜んでくれる人がいる、この上ない幸せ。

### ◆ 江戸川貞子さん (なでしこ神保町)



### 料理 千代田区 が好き!

#### ▶ 活動のきっかけは?

- ・自分の時間ができたときに「何かしたい」と思ったこと。
- ・地域の方から友愛訪問ボランティアのお話があったこと。

#### ▶ 楽しいことは?

- ・知っている方が増えること。皆さんの元気な様子を知ること。
- ・お弁当を届けた際に、「美味しかった」といってもらえること。
- ・お礼のお手紙やお電話をいただいて、次も頑張ろうと思うこと。
- ・ひとりでなく、仲間と一緒に活動できること。
- ・元気に無理せず、ボランティアが続けられていること。

### ◆ 渡辺久代さん、高井汪子さん (なでしこ万世橋)



右から渡辺さんと左が高井さん

### 料理 食べること が好き!

#### ▶ 活動のきっかけは?

- ・地域の友達から誘いを受けて。
- ・月1回の活動で負担がないと思いました。

#### ▶ 楽しいことは?

- ・新しい友達ができたこと。
- ・相手に喜ばれることが活動でプラスになったこと。
- ・新たな料理方法を発見できること。
- ・家庭の味とは違ったものを食べられること。  
(利用者もいつもと違ったものだと思食欲が出るそうです!)
- ・メンバー同士の交流できること、友達に会えること。
- ・おふくろの味を伝えていけること。

なでしこ配食サービスは、ひとり暮らしの高齢者や障がい者へ、手づくりのお弁当を届ける活動です。

月1回の配食を楽しみにされる方やボランティア同士のふれあいをとおして、地域の安全や健康を支えることができます。麴町、神保町、万世橋の各地で定期的に活動しています(8月のみお休みです)。

- |           |         |             |                 |
|-----------|---------|-------------|-----------------|
| ● なでしこ麴町  | 第1・3月曜日 | 9:00~12:00  | 一番町集会室で昼食づくりと配達 |
| ● なでしこ神保町 | 第2月曜日   | 9:00~12:00  | 神保町区民館で昼食づくりと配達 |
| ● なでしこ万世橋 | 第4水曜日   | 13:00~17:00 | 万世橋区民館で夕食づくりと配達 |

## ◆ 吉田勉さん、幸子さんご夫妻 (切手整理ボランティア)



空いた時間を利用してボランティアセンターへ  
切手整理で夫婦の会話もはずみます

切手整理活動は、使用済切手を集め、整理し、換金したお金を地域の福祉活動に役立てる活動です。

平成29年度の換金額は105,658円。使用済切手を捨てずにボランティアセンターにお届けください。また、センターのサロンでは開館時間のいつでも自由に整理作業ができます。毎月第3土曜(10:00~15:00)はボランティア同士楽しく交流しながら整理活動を行う「切手整理サロン」も開催しています。お気軽にご参加ください。

## 身体を動かすこと が好き!

### ▶ 楽しいことは?

- ・「できる」ボランティアがあって、続けられること。
- ・ボランティアでいろいろなところへ赴けること。
- ・いろいろな人と出会うこと。
- ・ボランティア活動のための街歩きと、各地で新しい発見があること。
- ・健康を維持できること。
- ・夫婦のボランティアで、夫婦の会話も増えること。

## ◆ 橋本怜奈さん (かんだ連雀すみれボランティア・ちよだ学生ボランティアサークルネットワーク)



一人暮らしの方に喫茶店で過ごすくつろぎを  
美味しいコーヒーと笑顔の楽しいひととき

すみれボランティアは、かんだ連雀を拠点に高齢者の生活を支えていくボランティア活動です。

デイサービスや特別養護老人ホームでのプログラムサポート、外出の付添いや入浴後の整容などを行っています。毎月第4火曜日の13:30~15:00に定例学習会を開催し、現場で働く職員から学んでいます。初めてボランティアをしたい方も安心してご参加できます。

あなたの「できる」を活かして、地域に密着したボランティアをはじめてみませんか?

## 笑顔 笑顔になれること が好き!

### ▶ 活動のきっかけは?

- ・すみれボランティアの活動説明会
- ・一人暮らしの高齢者が自分のやりたいことができない状況を初めて知ったこと。

### ▶ 楽しいことは?

- ・とにかく楽しい、自然体で活動できること。
- ・自分が話すことで相手が笑顔になってくれること。
- ・話すことだけでボランティア活動につながる。
- ・身構えることなく参加できること。
- ・学生ができる活動を広げていけること。

# みんなの「好き!」や「できること」が地域をソクする!!

ボランティア活動は特別なことではありません。  
みんなのすきなこと、できることで活動すれば、  
地域の笑顔につながっていきます。

ぜひ、ボランティアの一步を  
踏み出してみませんか。  
私たち、ボランティア  
コーディネーターが  
サポートします。  
一緒に笑顔になりましょう。



あなたの「できる!」にプラスの楽しみを!

## 「ちよともワールドカフェ」のご紹介

- ★ゆるい繋がり、肩の力を抜いて参加できる!
- ★意見を言える、聞いてくれる!
- ★多様性を認めてくれる仲間と出会える!
- ★職場以外の人と話す貴重な場となる!
- ★千代田区で「居場所」ができる!
- ★ワールドカフェに参加すれば、新しい誰かと気軽につながる!



毎月第4土曜日の14時からボランティアサロンでワールドカフェを開催しています。区内在住・在勤・在学の方、ぜひご参加ください。

ワールドカフェとは、カフェにいるようなリラックスした雰囲気一つ一つのテーマについて楽しくアイデアを出し合う対話の手法です。





◆ 立石美加さん、伊藤佐和さん（ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社）



# わたしたちの「すき!」はみんなで一緒にすること

## ▶ 活動のきっかけは？

（伊藤さん）

ジョンソン・エンド・ジョンソンの企業理念である「我が信条（Our Credo）」の中に、「地域社会への責任」について書かれた箇所があります。私はこれを、「あなたは良き市民ですか」という問いと解釈しています。

社会貢献委員会では、社員に対し、「自分ができるところでできる範囲で一人ひとり取り組んでほしい」と日々問いかけています。特に、6～7月はボランティアの促進月間として啓発に力を入れています。社内には、社会貢献委員会の事務局スタッフのほか、社会貢献活動に取り組む15人の有志のリーダーがいるのですが、立石さんはそのリーダーの一人として、運営側として取り組んでいます。

（立石さん）

「地域に貢献したい」というのがきっかけです。

最初は、清掃活動をしていたのですが、土日だと意欲は高くても参加できない社員も多くいました。そこで、「できる人が、できる時に、できることを」という思いのもと、ボランティアの参加時間にある程度の融通がきき、なおかつ社会の課題解決に繋がるような活動は何かを有志で考えていた時に、ひとり暮らしの高齢者の方に手作りの昼食をお届けする「なでしこ配食サービス」の存在を知りました。お弁当に季節のカードを添えたら喜んでいただけるかもしれないと思い「カード一枚からできるボランティア」にたどり着きました。

## ▶ 活動に参加して感じたことは？

（立石さん）

参加者からは、「楽しかった」、「リフレッシュになった」といったポジティブな声がたくさんあがりました。自分た



お弁当を彩る暑中見舞いのカード

ちが作ったカードが、実際に高齢者の方の手元に届くところが、ボランティアに参加した社員にも喜ばれているのだと思います。また、副次的な効果として、社員間のチームビルディングにもつながりました。

## ▶ なでしこ配食サービスのボランティアの皆さんについて

（立石さん）

年に2回の活動ではあるものの、いつも温かく迎えてくださることに感謝しています。外出の際に偶然お会いした時には声をかけていただくこともあります。地域の方とのつながりを感じとてもありがたく嬉しく思います。

## ▶ これから取り組みたいことは？

（伊藤さん）

地域の方と一緒に企画をつくっていきたいです。ボランティアを「する側－受ける側」の関係だけではなく、どのようなニーズがあり、我々が何ができるのか、そして地域をより良くすることを一緒に考えることで、繋がりもできますよね。それが長い目で見たときの理想ではないかと思っています。

（立石さん）

暑中見舞い・クリスマスカードをお届けする活動を始めてから今年で5年になります。地域の皆さんに覚えていただけて、この活動も少しずつ浸透してきていると思います。だからこそ、これからも「継続すること」を大切にしていきたいです。



なでしこ配食サービスの活動（お弁当づくりの様子）

ちよだボランティアセンターでは、千代田区と企業の社会貢献活動をコーディネートしています。関心のある企業様はぜひご連絡ください。

# ちよだ社協の広報活動をご紹介します！

ちよだ社協では、千代田区に在住・在勤・在学など、地域とのかかわりに合わせた広報活動を行っています。  
広報誌・ホームページ・Facebook・Twitter・メールマガジンをとおして、定期的に新しい情報を提供しています。  
身近に活用できる媒体で、ちよだ社協の発信をぜひご覧ください。

ホームページでもどうぞ！

## ■「ちよだ社協だより」

◎発行：年4回(4月・7月・10月・12月予定)

ちよだ社協の「はあと」を伝える情報誌で、千代田区社会福祉協議会の事業を分かりやすく掲載しています。

区内の各施設でご覧いただくか、新聞(朝日・読売・日経)各紙にて折り込み配布(一部地域を除く)しています。

「千代田社会福祉協議会」のホームページから  
Facebook・Twitterもご覧ください。



<http://www.chiyoda-cosw.or.jp>

## ■情報マガジン「ボランティア」

◎発行：年6回(偶数月の25日)

ボランティア団体や施設等のボランティア募集情報、助成金情報、参加者の声など、あなたの「はあと」が地域のチカラに変わる情報をお届けしています。ボランティア情報ステーション(区内約400箇所)で無料配布中!

情報がほしい方はお気軽にお問い合わせください。

「ちよだボランティアセンター」のホームページから  
Facebook・Twitterもご覧ください。



<http://www.chiyoda-vc.com/>

## ■「ご近所かわらばん」

◎発行：年5回

区民の皆様と協力して、地域の支え合い活動「ご近所福祉活動」(町会福祉部活動)をすすめています。このご近所福祉活動の取り組みや地域の情報をお伝えする情報紙が「ご近所かわらばん」です。内容は、

- 町会が行っている福祉活動
- 町会(福祉部)インタビュー
- 福祉サービスに関する情報
- まちの中のできごと・ニュースなど



<http://www.chiyoda-gokinjo.net/>

あなたも  
ボラダーに  
変身!



毎週火曜日は「千代田でつなメール」(メールマガジン配信中)

メルマガでしか知ることができない!? 千代田区の地域活動やボランティアの最新情報を配信しています。登録はこちらから簡単にできます。

<http://www.chiyoda-vc.com/9036>

QRコードで  
簡単登録

